

お客様

ハマナ サービスニュース

株式会社 浜名ワークス

ABS電源ソケットの取扱いについて

ABSは安定した制動をサポートする重要な装置です。ABS電源ソケットの端子に錆が発生し導通不良を起こすと、ABSに正常に電源が供給されないためABSが非作動状態となり、急制動時の車輪ロックを防止できないばかりか、ABS装着車においてはトラクタとの通信が不能となり、安定した制動バランスを得ることができなくなります。

つきましては、ABS電源ソケットの『正しい取扱い方法』及び『錆発生時の除去方法』をご案内しますので、不具合発生防止の為、正しい取扱いと点検・整備を実施して頂きますようお願い申し上げます。

## 【1】 ABS電源ソケットの正しい取扱い方法



トレーラ切り離し時はABS電源ソケットを、トラクタキャブバックの収納用ソケットへ差し込んで下さい。トラクタプラットホーム上へ放置すると雨水等により端子に錆が発生し、トレーラ接続時に導通不良を起こす原因となります。

ABS電源ソケットの端子部が濡れた場合は、エアブローして水分を除去して下さい。

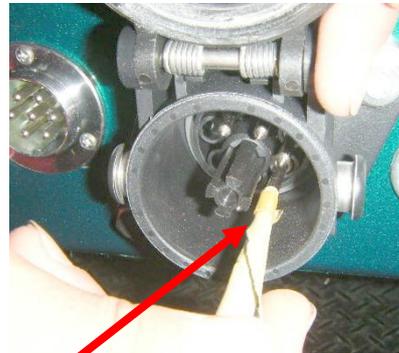
## 【2】 錆発生時の除去方法

端子に錆が発生した場合は400番程度の紙やすりを細く巻き、端子に差し込んで軽く磨き、錆を落として下さい。

錆を落とした後は、端子部をエアブローして汚れを除去して下さい。



メス端子は紙やすりの研磨面を表向きに巻いて磨く



オス端子は紙やすりの研磨面を内向きに巻いて磨く

【コメント】 接点復活剤をスプレーする事により、接点回復及び腐食の防止が期待できます。

本件に関するお問い合わせは、下記をお願いします。

(株)浜名ワークス サービス部 053-583-1515